

日医FAX ニュース



日医FAXニュース
編集・発行：日本医師会(03-3946-2121)

■ 医療費不払い外国人、報告基準引き下げ

— 4月から「1万円以上」に —

医療費不払いのある訪日外国人受診者の情報を共有する「訪日外国人受診者医療費未払情報報告システム」について、医療機関に報告を求める際の基準が現行の20万円以上から1万円以上に下がる。4月1日以降に発生した未収金を対象にする。厚生労働省が2月4日付の事務連絡で周知した。

2021年から運用されている同システムは、医療機関で医療費が20万円以上未払いとなった訪日外国人受診者の情報を収集し、出入国在留管理庁に共有。その後の入国審査で活用する。

政府の関係閣僚会議は1月、「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」を決定。その中で「医療費の不払いがある訪日外国人に対する厳格な審査について、対象となる不払い額を20万円以上から1万円以上に引き下げ、新たな医療費の不払いの発生を抑止する」と盛り込んだ。今回の方針はそれを踏まえたもの。

厚生労働省が発出した事務連絡は「訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムに係る運用変更について」。

【メディファクス】

■ 国内のニパウイルス感染リスク「低い」

— 厚労省 —

厚生労働省は2月5日、ニパウイルス感染症に関するリスク評価を発表した。国内ではニパウイルスを保有するコウモリが報告されていないことから、国内における感染リスクは低いとしている。1月にインドでニパウイルス感染症の患者が確認されたことを踏まえ、リスク評価した。日常生活における接触で容易にヒトからヒトへ広がる感染症ではないため、国内でのウイルス蔓延の可能性も低いという。

厚労省は、インドへの渡航歴があり体調に異常のある人について、動物が食べた可能性がある生の果物を食べたか、コウモリなどとの接触があったかを確認し、必要に応じて医療機関を受診するよう勧めている。

リスク評価は国立健康危機管理研究機構(JIHS)が実施。国内では現時点までに患者の報告はない。

【メディファクス】

■ 学校医の役割明確化と業務合理化を

— 日医総研WP —

日医総研は、学校医に関する課題を把握・分析し、適切な情報発信につなげることを目的に、学校医に対するアンケート調査を行い、ワーキングペーパー(WP)にまとめた。学校医の不足に対しては、役割の明確化と業務の合理化、医師不足地域での勤務医による学校医の代替、内科医・若手医師に対する認識の醸成などの対応策を挙げた。学校健康診断の在り方については、学校医の負担軽減のため、実施時期や項目を見直す必要性などに言及している。

アンケートは、都道府県・郡市区医師会に所属する学校医を対象に2023年度の状況について調査。延べ5077人の回答を分析した。

回答者の年齢は、中央値・ピーク値ともに60～64歳(20.7%)。診療科は内科(73.5%)、耳鼻咽喉科(11.3%)、眼科(10.7%)の順で、小児科は1.3%だった。

1人当たりが受け持つ学校数は平均2.8校。「1校」が43.5%を占める一方、「5校以上」の回答も17.1%に上った。耳鼻咽喉科(6.2校)や眼科(4.9校)の医師で受け持つ校数が多く、1校当たりの平均出務回数で見ると内科(3.8回)や小児科(3.0回)が多かった。

学校医活動の報酬額に「課題がある」との回答は30.5%。受け持つ校数が多いと、報酬額に課題を感じる傾向にあった。学校医不足に関する課題については、▽開業医の減少▽高齢医師に頼らざるを得ない状況▽学校医1人で担当する校数や診る人数が多すぎる一などが挙げられた。

●学校健康診断「学校医の努力の上に成立」

学校健康診断については、96.0%が「規定の期間内に実施」し、95.3%が「規定の項目を実施」していた。これについてWPでは、「ほとんどの回答者が学校保健安全法の規定通り行っていたが、これは学校医の並々ならぬ努力の上に成り立っていると言える」と指摘。学校医1人当たりの負担軽減を考えた場合、実施時期の延長や項目の見直しに関する検討が必要だと訴えている。

また、脱衣を伴う健康診断の在り方にも言及。日医と文部科学省が24年9月に共同作成したリーフレット「学校健康診断実施上の留意点」のさらなる周知が望ましいとしている。

【メディファクス】

■ インフル定点30.03、再び「警報レベル」

— 1月26日～2月1日 —

厚生労働省は2月6日、2026年第5週(1月26日～2月1日)のインフルエンザの発生状況を公表した。全国の定点当たり報告数は30.03で、前週の16.64から増加。全国平均が警報レベルの基準となる30を超えたのは今シーズン2度目となった。

都道府県別の定点当たり報告数は、大分が52.48で最多。次いで鹿児島(49.60)、宮城(49.02)となった。

総報告数は11万4291人で、前週から約5万1000人増加した。 【メディファクス】

【お知らせ】

特別上映イベント「2026オーケストラの夕べ」のご案内

—応募締切迫る—

日本医師会館大講堂で開催いたします標記のイベントに抽選で200組400名様を無料でご招待いたします。

イベントの概要や申し込み方法などに関しては、日医ニュース第1544号8面(下記二次元コード)をご参照頂き、ご応募願います。



◆問い合わせ先：日本医師会広報課

TEL 03 - 3946 - 2121 (代)

本日の日医FAXニュースは2ページでの配信となります。ご了承ください。

日本医師会広報課